



| 行事予定表 |   |                       |
|-------|---|-----------------------|
| 1     | 水 | ピヨピヨひろば               |
| 2     | 木 | 絵本の読み聞かせ(5歳児)         |
| 3     | 金 | 豆まき                   |
| 6     | 月 | リトミック/給食費振替日(3歳児以上)   |
| 7     | 火 | にじぐみ保育参観              |
| 8     | 水 | 交通安全教室(4・5歳児)         |
| 9     | 木 | ひかりぐみ保育参観             |
| 10    | 金 | 航空写真と全園児集合写真撮影(10:00) |
| 15    | 水 | おべんとうデー               |
| 16    | 木 | 誕生会                   |
| 21    | 火 | ほしぐみ保育参観              |
| 22    | 水 | だいちぐみ保育参観             |
| 24    | 金 | 避難訓練(通報訓練)            |
| 28    | 火 | きりんグループ(4歳児)保育参観      |

今冬は、寒さが厳しい予報であったが、比較的暖かい日が続いた。一月末になって、強い寒波が来るとの予報にまたはずれる、と高をくくっていたら、本当に強烈なやつがやって来た。霜柱ができて、子ども達は喜んでいたら、霜解け後が大変。園庭がグシャグシャの田圃状態そんな中でも、ドロンコサッカー、鬼ごっこをしている。靴底にドロを重ね、転べばドロだらけ。子ども達と散歩に行くと、梅のつぼみが赤く膨らんで花壇のチューリップも芽を出していた。もうすぐ春

二月逃げ。三月去る。あつという間に卒園、進級を迎える。



### 「やったよ！発表会」

・先週の土曜日に、久しぶりに観客のいる3歳児以上の3部制の発表会を行いました。合唱・合奏・劇は、どの学年の子ども達も見てもらうことを楽しんでいるかのように見えました。保護者の方々、子ども達、全職員の協力のおかげで思い出深い時間が過ごせました事に感謝申し上げます。

### 今月の予定がう...

#### ●豆まき&おにぎりデー(3日)

・駐車場のヒイラギの葉を、ぞうグループの子ども達が採り、イワシの頭で「やいかかし」を作り、保育室前に魔除けとして飾っています。当日は「鬼を切る」の意味を込め、おにぎりを食べて、心の中の鬼を退治します。豆まきは行いますが、誤飲の恐れがあるため豆は食べません。4・5歳児は、自分でおにぎりを作り(鬼を切り)食べます。



#### ●交通安全教室(8日)

・毎月、教員の方々には交通ルールを守る大切さ、命の大切さを学んでいます。ご家庭でも命の大切さを話してほしいと願っています。

#### ●航空写真・全園児集合写真撮影(10日)

・今年も航空写真と全園児集合写真を撮影します。体調不良の方以外は、9時までの登園をお願い致します。

#### ●誕生会(16日)

・2月生まれの友達をみんなで沢山お祝いしましょう！

#### ●保育参観

にじぐみ、ひかりぐみ、ほしぐみ、だいちぐみ、きりんグループは保育参観を予定しています。保育参観の手紙が配信された際はよくご覧ください。

#### ☆おしらせ★お願い

☆今年度製作した子ども達の作品を入れて持ち帰る作品袋代(100円)を徴収させて頂きます。・だいちぐみ・たいようぐみ・そらぐみのご家

庭は、給食費+100円の金額を6日に振替させて頂きます。また、にじぐみ・ひかりぐみ・ほしぐみは、納入袋で6日に100円を徴収させて頂きますのでよろしくお願い致します。

#### ☆R5年度の入園式は

4月8日(土) 9時半〜午前中です。

・今年も、新入園児だけで入園式を行います。ぞうグループの子ども達は、合唱での映像参加となります。大変申し訳ありませんが、当日の土曜保育は実施致しませんので、ご協力をお願い致します。※なお、4月に各クラスで進級写真撮影する予定です。

#### 幼児理解・・・子どもの心を知るじゆん

子どもと一緒に生活していて、大事にしているのは、子どもの気持を理解することだが、これが一番難しい。日々悩み、考える。▼昔、父母の会の研修会で、○○研究会の講師(?)が、「赤ちゃんが泣き止まないの、哺乳瓶を渡すと泣き止んだ。しかし、ミルクは飲もうとしない。哺乳瓶を取ると、又泣き出した。渡すと泣き止んだ。」そこまで話し、急に私に「園長先生、どうしてだかわかりますか？」と質問された。私は、研究団体と話が、いかがわしいので、後方に座って、外の子どもの声を聞いていたので、急の質問にドギマギした。その場にいたわけでないのに、分かるわけがない。すると「赤ちゃんは、瓶の動物の絵が気に入っていたのです。」と自慢げに言った。口のきけない赤ちゃんが、そう言ったわけでもない。本当のことは分からないはずだ。瓶を持ちたただけかもしれない。大体、それが分かったと言って、何の意味もない。「それがどうした」と言いたかった。私は赤ちゃんの心が分かる、と言いたただけなのか。▼先生方の研修会で、参加者の一人が「いつも、園に来ると、

誰とも遊ぼうとせず、園庭の端で、一日中、砂いじりしていて、いくら声を掛けても一緒に遊ぼうとしない子がいるのですが、どうしたらいいでしょう」と質問した。すると講師は「そういう子は、見て参加しているので、大丈夫です。そのうち参加してきますから。」と言った。そのうち参加してくるのは確かだが、うつむいて、下ばかり見て、指先で砂をいじっている子が、どうして「見て」「参加」している

と言えるのかと思った。優しいお母さんから離れ、誰も知らない中に放り込まれ、不安で、心細く、下ばかり見て、砂いじりしかできないのかも知れない。「良く分からないけど、私は君の味方だよ、安心しな、絶対に守ってやる。君のこと大好きだよ、君と一緒に遊びたい。」と寄り添うことが大切だと思う。▼幼児教育・保育で大切なことは、幼児理解と全面的受容である。幼児理解と言っても、完全に理解することはできない。しかし、幼児に寄り添い、思い続けること、心を寄せることが大切である。相手を思っていると、相手に通じるものである。人間は心が通じ合う動物である。全面的受容と言っても、全て認めるというよりは、予見なしに、一旦全てを受け入れ、理解に努めることである。▼テレビの中の心理学者は、さも分切り切っているが如く、確信的に、「人間は○○だから、○○なのです。」と断言する。しかし、日本の心理学の第一人者、河合隼雄先生は、人の心のうちを聞かれると、「難しいおまんな」と言って考え込む。「人の心はなかなかかわからんもんです。」と言って考え込む。大先生は「そんなに簡単に人間の心は分かりませんよ」と言っているのだ。私達にできることは、人の心を読み、考え、理解に努めることだ。

